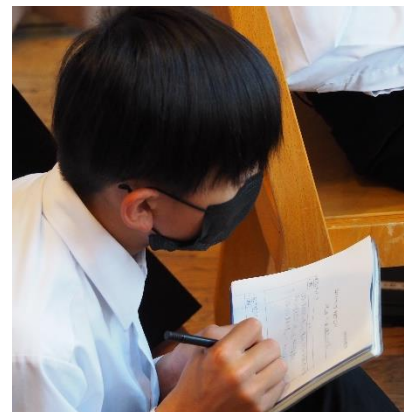


仰ぎて聖し わが学び舎

<https://hakubajh.ne.jp/>

地域の方の広い見方と深い考えに学んだ！ ～白馬 SDGs ミーティング～

本年度のスローガン「未来へつなぐ」につながる、地域の方と学びあう SDGs ミーティングが行われました。21ブースに27名の講師の方を迎えて、SDGs の 17 のゴールに関わる内容について、話を聞いたり、自分の考えを伝え合ったりしました。また、3年生は、総合的な学習の時間で「白馬を創る」について追究している課題別にブースを作り、より深い話し合いを行いました。地域の方のリアルな考えや熱い思いに、真剣な眼差しで聞き入る生徒の姿が印象的でした。



<生徒の振り返りより>

- 自分が知らない深いところを話してくださって、考え方が180°変わりました。1つの取り組みが、すべてにつながっていてびっくりしたし、バイセクシャルなどもよくわかっていなかったのが、LGBTの方、本人に話を聞いて良かったです。ホテルの取り組みもよく考えられていて深いと思いました。ホテルでは、大切な命を無駄にしないような取り組みがされていて、とても勉強になり、やれることにもっともっと力を入れられたらなと思いました。(1年)
- 今地球で起きている問題の多さ、そして「悲惨」さを知りました。そして、日本という国は他の国に比べて恵まれていると思いました。世界には、キレイな水が飲めない人、助けを求めたいのに助けを呼べない人もいました。日本は恵まれているといっても、「日本さえ幸せでいい」と思うのではなく、地球のためにも、日本のためにも、持続可能な世界を作って残していくことが大事だと思いました。普段知る機会のないSDGsですが、分かりやすく、丁寧に説明してくれたので、興味も持てたし実際に行動にも移してみようという気持ちになれました。(1年)
- 「すべての人に安全な水とトイレを」と「陸の豊かさを守ろう」は、ちがう問題のようで、原因などに共通点があると知った。1つの課題を解決しようにも、さまざまな視点から見ると別の課題が出てきて、そういうことがあるからこそ、17項目の解決が必要なのだと思った。森林伐採やトイレや水の問題は、日本ではない国の方が目立っているけれど、直接的な原因をつくっているのは私達でもあるので、その国の問題と切り捨てないで、私達一人一人の意識を変えていく必要があると思った。(2年)
- ジェンダーレスの話聞いたときに、人には4つの性「生物学的性」、「性的指向」、「性自認」、「表現的な性」があり、100人に聞いたら100通りの性への考え方があることが分かった。ただ、1つ思ったことがあって、「LGBD」という言い方がなんか嫌だった。「LGBD」とか「ゲイ」とか「レズビアン」とか、そういう呼び方が、なんか普通じゃないものとしてくくられているように感じたから…。私は、別に恋愛に性別は関係ないと思うし、人によって普通の定義は違うので、「LGBD」や「ゲイ」、「レズビアン」とくるんじやなくて、そういうのを普通として当たり前のこととして、とらえられるように、多様性の認められる社会になったらいいと思った。(2年)
- 自分たちは、ペーパーレス化を主に取り組んでいると伝えたところ、Mさんから、「自分たちが、紙を使った分だけ、学校内の敷地に木を植えればいいんじゃないか」という意見をもらいました。自分もそれには共感で、SDGsの作る責任・使う責任にも当てはまっているなと思いました。また、自分たちの手で紙を作ったら、自分たちが紙を作るのがどれくらい大変なのか、ということもわかり、紙を大事に使うということにもなると思いました。そして、Kさんは、「野菜を植えましょう！」とっていました。なぜなら、野菜は、どの時期にもその時にあった野菜を作ることができて、やろうと思ったらすぐに始めることができる、結構身近にあるものだからと言っていました。野菜を植えることによって校内が緑にもなるし、地球温暖化に貢献できるのではないかと。それに、白馬村だけの野菜を植えて地域にも貢献できる、1人でもSDGsを始めれば、なにかがかわるかもしれない。と言っていました。これにも共感しました。なぜなら、1人でも始めたなら、そこから、広まって行って、「あの人がやっているなら、僕もやってみよう」「まずは、省エネから始めよう」などという人が増えていき、だんだんとやる人が増えていくと思ったからです。(3年)
- 主に今のウクライナとロシアの戦争のことについて話を聞いた。この戦争のきっかけを身近なこととして考えたミニ寸劇をした。そうすることでウクライナとロシアの戦争の仕組みをより理解することができた。ウクライナを手に入れたいロシアとNATOに加盟したいウクライナ。今の戦争を私の手で止めることはできないけど、仕組みを知ってニュースなどを通して現状を知ることが大切だなと思った。同じ人間の間で戦争がおきて、本来なら幸せに生きる権利を持っている人たちが死んでしまったり、深い傷をおったり、悲しい思いをすることがいつか世界中で起きなくなる時代が来ればいいのになと思った。未来を変えることができるのは私たち子どもだと思うから、戦争を経験した子供たちが大人になって第二次世界大戦のように繰り返さないためにもなにか活動ができたらなと思った。(3年)

生徒たちの振り返りから、目の前で起きている事実と向き合い、一人一人が未来への責任を感じながら、これからの社会を創っていかうとする思いが伝わってきます。これからも、白馬そして世界の未来へつながるSDGsの視点を大切にしたい学びを学年に応じて積み重ねていきたいと思っております。

